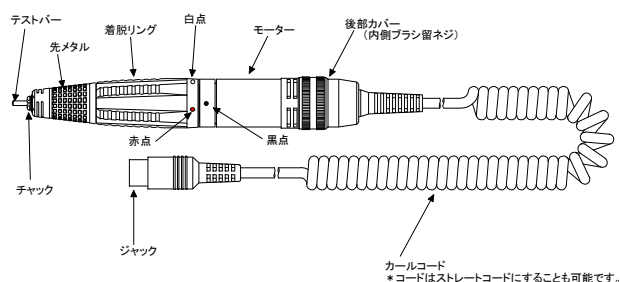


機械器具 61 歯科用ハンドピース
一般医療機器 歯科技工用電動式ハンドピース (JMDNコード: 70746000)

武蔵ハンドピース

【形状・構造及び原理等】

【形状・構造等】



回転速度 (回転方向: 正/逆)	1,000~32,000rpm
最大出力	DC35V
使用バー	JIS T 5504-1: 2001 軸研形式2 (φ2.35)
入力電圧	AC100V, 50/60Hz

【使用目的又は効果】

歯科技工における切削研磨作業に用いる。

【使用方法等】

1. ハンドピースをコントローラーに接続する。
ハンドピースのコードのジャックをコントローラーの前面のソケットに差し込み、接続する。
2. ハンドピースにバーを装着する。
着: ハンドピースへバーを差込、着脱リングを右にまわし、バーを装着する。
脱: ハンドピースの着脱リングを左にまわし、バーを引抜、取り外す。

* コントローラーの操作方法に関しては、武蔵の添付文書を参照してください。

《使用方法に関連する使用上の注意》

- 1) バーを取付ける際は、途中で止めず、バーが奥まで確実にに入った状態で装着すること。
- 2) ハンドピースに使用するバーには、規格外のバーを使用しないこと。
- 3) ハンドピースに使用するバーには、傷、変形、錆又は欠けのあるバーや、異物又は洗浄剤が付着したバーは使用しないこと。

【使用上の注意】

《重要な基本的注意》

- 1) バーの着脱は回転が完全に止まってから行うこと。
- 2) バーが確実に装着されているか確認してから使用すること。
- 3) 回転中のバーには触らないこと。
- 4) バーの製造業者の指定した回転速度を越えて使用しないこと。
- 5) バーが折れたり飛び出して怪我をする恐れがあるため、振れ、曲がり、傷、シャंक部に摩擦の見られるバーは使用しないこと。
- 6) ディスクを高速で使用すると割れたり、破損して飛散し、怪我をすることがあるため、低い回転速度でディスクの振れないことを確認して使用すること。
- 7) 砥石は新品であっても重量バランスが片寄っている場合があるので、必ずドレッシングをしてから使用すること。
- 8) 作動中は、ハンドピースとコントローラーの接続を解除しないこと。
- 9) 故障の原因となるため、ハンドピースを落下させるなどの強い衝撃を与えないこと。
- 10) 使用時には安全の為、バキューム、保護眼鏡、マスク等を着用すること。
- 11) 薬液等が本製品に付着した場合、腐食する恐れがあるので、速やかに清拭すること。酸化電位水、滅菌液での洗浄、漬浸は行わないこと。
- 12) ハンドピース及びモーターのガタ、振動、音、温度(発熱)に十分注意し、使用開始前にあらかじめ回転させ、点検を行うこと。
- 13) 本製品の周囲に可燃性ガス、または液体のないことを確認してから使用すること。
- 14) コード等はストーブ、バーナー等火気の近くを通らないようにすること。もしコード類が燃えた場合は、修理せず新品に交換すること。
- 15) 故障や発熱の原因になるため、モーターへの注油は絶対にしないこと。
- 16) ハンドピース回転中は、ハンドピースの着脱リングを、バーを開放する状態にしないこと。ハンドピースの故障の原因になります。

17) 切削刃部の大きいバー（φ8 mm以上）を使用する場合は10,000rpm 以下の低い回転速度で安全を確認し、徐々に回転速度を上げて使用すること。

18) 保護装置がたびたび作動するような高負荷での使用はなるべく避けること。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- (1) 水のかからない場所に保管すること。
- (2) 結露しない場所に保管すること。
- (3) 温度、湿度、埃、塩分、硫黄分等を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
- (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

〈耐用期間〉

5 年間。（自己認証（当社データ）による。）

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉

No.	点検内容	点検頻度
1	清掃	作業ごと
2	チャックの清掃	週に1度
3	ブラシ周辺の清掃	週に1度
4	動作の状態 (バーの振れ、振動、異音、発熱)	使用前
5	バーの保持 (バーのゆるみ)	使用前

1) 清掃

1. ハンドピース表面に付着した汚れを布やブラシなどを使用し拭き取ってください。
なお、ハンドピース及びモーター内部にアルコールや水分が入りますと故障の原因となります。
2. コード接続部にゴミなどが付着している場合、取り除いてください。

2) チャックの清掃方法

1. チャックを付属の工具を使用し、左に回し取り外す。
2. ブラシ等でゴミなどを取り除く
3. チャックをハンドピースに取り付け、付属の工具を使用し締める。使用前にバー振れや振動がないことを確認すること。
4. チャックは週に一度取り外して掃除すること（掃除を怠るとチャック内にゴミが溜まり、チャック力が弱くなり危険なため）。またゴミなどが入り込んだ疑いのある時にも行うこと。

3) ブラシ周辺の清掃

1. ブラシと回転部との間の切削屑などをとばすために、15,000RPM 程度で正回転 5 秒、2 秒ほどあけて、逆回転 5 秒の空回転を繰り返し 3 回行ってください。
2. このメンテナンスは週に 1 度あるいはブラシ周辺にゴミなどが入り込んだと思われるときに行ってください。

4) 交換部品は以下のものを使用すること。

1. 交換部品

カーボンブラシ	: 武蔵用
カールコード	: 武蔵用
ストレートコード	: 武蔵用

5) ブラシの交換

- ・長時間使用しますと、ブラシが摩耗して回転に不都合が生じます。その際は交換してください。

1. 後部カバーを左に回して外す。
2. コードを引き抜き、取り外す。
3. ブラシの止まっているネジを外し、新しいブラシに交換する。その際にブラシの線を切らないようにご注意ください。
4. ブラシをネジで止め、コードを差し込み、カバーを取り付ける（1～3 の逆の手順）。その際、コードを差し込む向きにご注意ください。逆の場合、後部カバーがスムーズに装着できません。無理に締めますと故障の原因になりますのでご注意下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〔製造販売業者〕 中村デンタル株式会社

電話番号 03-3955-5307

〔製造業者〕 中村デンタル株式会社